

整理番号	28-1	事務事業名	河川管理事業(排水機場)	作成部署	建設部土木事務所	電話	内線760
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名 齊藤順二	課長職名	高橋 孝一	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S43	根拠法令等	土地改良法第94条の6及び北海道有土地改良財産の譲与に関する条例				
〃 終了予定年度							
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	農地等の湛水による被害を防ぐため、土地改良事業により昭和43年に完成した中の沢排水機場を始めとして、その後完成した3箇所の排水機場の管理を行っている。						

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第1章)
	節	防災と消防	(第7節)
	施策	治山・治水の推進	(第2施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	千歳川流域の低平地及び居住者	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	対象となる農地、農作物等の降雨等による湛水被害防止と低市街地の浸水被害を軽減する。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(補助金等の場合は団体等の活動内容)	16年度まで	平成12年度～2号ポンプエンジン分解整備(共栄排水機場) 平成13年度～1号ポンプエンジン分解整備、制御盤蓄電池交換ほか(新中の沢排水機場) 平成14年度～制御盤蓄電池交換ほか(南の里排水機場)、2号ポンプエンジン分解整備ほか(新中の沢排水機場) 平成15年度～2号ポンプエンジン分解整備(南の里排水機場) 平成16年度～1号ポンプエンジン分解整備(南の里排水機場) 各年度～機械等設備保守点検及び緊急時運転委託
		17年度	3号ポンプエンジン分解整備(共栄排水機場) 機械等設備保守点検及び緊急時運転委託

2 実施(ドゥ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金	374	375	375	375
	地方債				
	その他特財	59	57	57	57
	一般財源	8,948	7,131	6,172	2,568
	合計	9,381	7,563	6,604	3,000
人件費(概算)	人数(年間)	0.40	0.30	0.30	0.30
	1人当り年間平均人件費	9,235	9,000	9,000	9,000
	= ×	3,694	2,700	2,700	2,700
総事業費 +	13,075	10,263	9,304	5,700	

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	土地改良事業受益面積(ha)	503	503	503	503
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	湛水被害面積(ha)	0	0	0	0
	(被害回避率)	100%	100%	100%	100%
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	受益面積1ha当りコスト				
	(総事業費÷被害回避受益面積)	26千円	20千円	18千円	11千円

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等 施設建設から相当年数が経過していることから、主要機械などの老朽化が著しくなっており、メンテナンス費用が増大する傾向ある。また、現在の集中管理システムは、設置から10年以上経過しており、システム機能が古く、その機能向上を図るための更新が急務である。

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	治水対策施設であり、市が行う事業である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市民の生命・財産を守る治水対策事業であることから、目的は適切である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。他の手段や委託化などの可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	現在、日常の保守点検、緊急時の機械運転を委託しているが、機械類の延命を図るため、定期的な保守点検業務の委託を実施していく必要がある。	機械、計装機器などの専門家による定期的な保守・点検を実施する。
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	新たな受益者負担の余地はない。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	近年は大規模な豪雨はないが、排水機場の効率的な稼働により、湛水による被害は出ていない。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	機械、計装機器の老朽化に伴い、修繕等の負担が多くなってきている。	故障が起きてからの対応ではなく、計画的なメンテナンスを実施し、機械類の延命を図る。

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	本事業は、治水対策施設の維持・管理事業であり、大雨による低平地の湛水被害防止のため、不可欠な事業である。施設の老朽化に伴う機械類の延命のためには、計画的で定期的なメンテナンスを行っていく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり